

技術と経営の視点で創造的な成果を生み出す<技術経営>者養成セミナーのご案内  
国立大学法人山口大学大学院技術経営研究科 福岡教室（博多駅筑紫口徒歩5分）

社会人を対象とした土曜日中心の授業により技術経営修士（専門職）学位を取得できる、国立大学法人山口大学大学院技術経営研究科・福岡教室では、技術経営者養成セミナーを開催します。今回は、「体系的なマネジメント人材の専門教育の必要性と弊学の取り組み、そしてイノベーションを起こすには」と「技術経営的アプローチによるIoT時代の商品開発」の2つのテーマについて、わかりやすく解説します。

■ 日時：2019年11月13日（水）18:30～21:00

● 18:30～20:15 セミナー

テーマ1「体系的なマネジメント人材の専門教育の必要性と弊学の取り組み、そしてイノベーションの駆動」

講師：山口大学大学院技術経営研究科 教授 春山繁之

企業経営や組織運営において、「自らが核となり次世代の事業・イノベーションを継続的に創出できる人材の育成が最も重要であること」は、急速な成長と陳腐化・衰退が起こる現在の社会環境においては言うまでもありません。しかしながら、企業や組織において、どのような教育施策によって人材を育てればよいかは十分に示されていません。弊学技術経営（MOT）専門職大学院における教育目標の一つに、この人材育成のあり方があります。技術と経営の複眼的な視点から、社会や企業、組織における様々な問題に対する解決を目指し、それに取り組む力を習得するところが主眼となります。1年次には「基盤・展開・応用」の3つの科目群から構成された充実したプログラムで思考力とスキルを向上させ、2年次の「特定課題研究」では創造的な解決手法を実践します。本テーマ1では、その具体的施策についてお話しし、かつイノベーション創出のために必要となる要因、そしてイノベーション・プロセス（「価値を創る」「価値を伝える」「連携・組織として実行する」）についても紹介します。

テーマ2「IoT時代の商品開発：技術経営的アプローチ」

講師：山口大学大学院技術経営研究科 副研究科長・教授 岡本和也

IoT世界において、日本が誇る製造業における従来の「モノをつくって売る」時代は終焉を迎え、上流（市場共創）から下流（保守・サービス）までの一貫通貫的ビジネス思考と商品開発が求められます。特に、半導体産業においては、Big Data、AI を最大限活用し、効率的かつ効果的な事業戦略が求められます。本セミナー2では、日本の産業動向指数・半導体産業の海外との比較、成長曲線とやさしい数理予測、知的財産情報を利活用した商品開発戦略など、その技術経営的アプローチについてのエッセンスを紹介します。

● 20:30～21:00 MOT 説明会（希望者のみ）

国立大学法人山口大学大学院技術経営研究科 カリキュラム紹介  
教員、在校生・OB との懇談会

■ 場所：国立大学法人山口大学大学院技術経営研究科 福岡教室（第2教室）

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目4-17 第6岡部ビル7F

■ 参加申し込み方法

山口大学技術経営研究科ホームページ（URL：<http://mot.yamaguchi-u.ac.jp/>）から11月9日（土）までにお申し込み下さい。参加は無料です。（定員15名。定員になり次第、締め切り。）

【問い合わせ先】

国立大学法人山口大学大学院技術経営研究科

〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1

TEL：0836-85-9876 E-mail：mot@yamaguchi-u.ac.jp